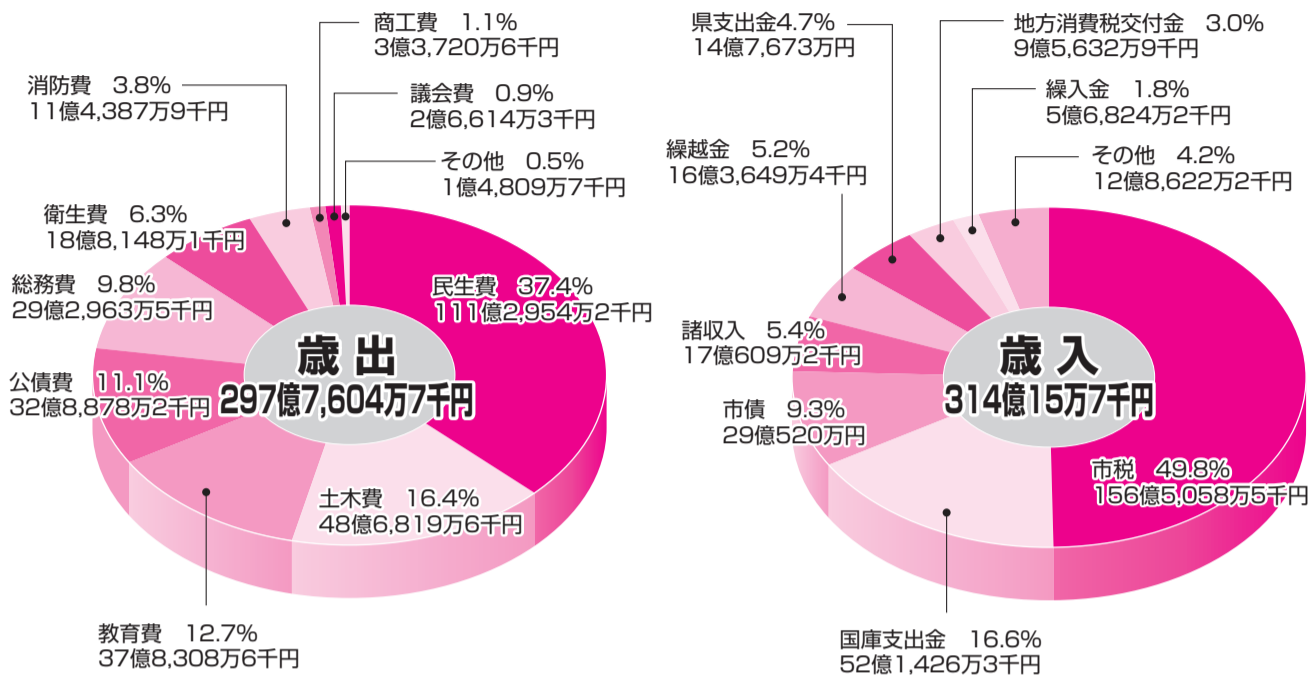


# 平成26年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要



平成26年度八潮市一般会計歳入歳出決算の歳入総額は、314億15万7千円、歳出総額は297億7604万7千円で、歳入歳出差引額は、16億2411万円でした。  
また、歳入歳出差引額から、翌年度への繰越財源1億1248万6千円を差引いた実質収支額は、15億1162万4千円で、単年度収支額は、△1992万7千円でした。  
なお、平成26年度八潮市一般会計歳入歳出決算の概要については次のとおりです。

## 討論

平成26年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について、討論の概要をお知らせします。

### 反対討論(日本共産党)

平成26年度一般会計歳入歳出決算の認定に反対の立場で討論します。26年度決算は、消費税率が8パーセントに引き上げられた最初の年の決算となりました。

八潮市でも、上・下水道料金や学校給食費等に転嫁をされました。個人市民税の一人当たりの所得割額が前年度を上回りました。給与所得者の割合が増えていることなどが考えられるとされています。

地方消費税交付金が増額されました。社会保障関連経費に充てるとされましたが、単に財源が入れ替わっただけであることが明らかになりました。

国庫委託金の自衛官募集事務委託金についてです。この委託金は、法定受託事務として行われている自衛官募集事務に係る費用として計上されたものです。今度の法改正で自衛隊の活動内容が大きく変化することが明らかになっています。すなわち、後方支援の活動区域の拡大や任務遂行のための武器使用、日本が攻撃されたわけでもないのに、他国が起す戦争に武力行使をもつて参加することなどが盛り込まれています。まさに殺し殺されるということが現実化する可能性があることになり

ます。自衛隊員をこのような場所に赴かせてしまうような事務のあり方は見直すべきでありま

### 賛成討論(自民クラブ)

一般会計決算は15億円の赤字決算になりました。この一部を当該年度に早期に予算化し、市民の暮らし応援に資することが求められたのではないのでしょうか。

マイナンバー制度に伴う事業が実施されました。国民の理解や個人情報漏えいに対する危険の払拭等が進まない中で執行となりました。契約事務では、公共工事設計労務単価の見直し

が連続的に行われていますが、建設現場労働者への反映状況を求めるべきです。災害時要援護者の支援体制の推進を求めます。駅前出張子育て広場を増やすこと。子ども医療費支給制度の拡大ですが、市長選挙後2年間でゴールしたいとされていたものであること

から、その実行を求めます。警察署誘致のさらなる努力や優良技術・技能者の技術の継承等の施策も引き続き検討を求めます。

八潮らしい街並み景観形成支援補助金が1件、100万円の実績がありました。問い合わせはあるとのことですが、制度そのものの大胆な見直しが必要ではないのでしょうか。

就学援助事業では、クラブ活動費や生徒会費・PTA会費が税源移譲されていることから早期の対応を求めます。教育相談所・フレンドスクールについて

も、より充実を求めます。さらなる住民の暮らし応援の施策を求め討論とします。

### 賛成討論(自民クラブ)

平成26年度の経済情勢は、4月の消費税率改正に伴う駆け込み需要の反動の影響を受け、一時、個人消費は落ち込んだものの徐々に回復の兆しが見えてきたところであり、極めて厳しい地方財政の現状及び経済情勢等を踏まえ、歳出抑制を図る一方、社会保障の充実を図られたものと思われま

す。本市における決算をみますと、歳入総額では314億15万7708円で予算に対する収入率は100・8パーセントとなっており、対前年度12億7527万9394円で4・2パーセントの増となっております。市税の確保が極めて厳しい環境の中、平成23年度から4カ年度連続で市税全体の収納率が向上していることは、収納努力の結果であると高く評価するものでありま

すが、今後も自主納付の啓発や納付しやすい環境を整えるなど、自主財源の確保にさらに努めていただきますよう期待するものであります。

歳出総額では297億7604万7562円で、予算に対する執行率は95・6パーセントとなっており、対前年度12億8766万2777円で4・5パーセントの増となっております。

歳出全体では、予算化された事業を効率よく執行され、最小の経費で最大の効果が得られたも

のと考えておりますが、対前年度比が増加した要因としては、民生費、教育費及び消防費等の増加が挙げられ、事業が適切に執行されているものの、引き続き費用対効果を念頭に取り組んでいただくことを望みます。次に、平成26年度の主な事業をみますと、税財関係では、老朽化が進んだ公共施設の計画的な維持管理や更新等を行うため、アセットマネジメントに關して積極的に取り組んでおり、今後、計画的な施設の改修等が実施されていくものと期待して

いるところで、福祉関係では、新たに一つの認定こども園と二つの認可保育所が開園されており、待機児童の解消に向け、積極的な取り組みをされたことは評価できるものであります。

教育関係では、いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、八潮市子どもいじめ防止条例策定提言会議が開催されるなど、子どもたちが安心して生活し、健やかに成長することができる環境をつくるための条例制定に向けた取り組みとして評価できるものであります。

今後も増加する行政需要に対し、的確に対応していただくとともに、財源の確保、効率的な行政運営に心がけ、自立性の高い自治体経営と八潮市が住みやすさナンバー1のまちになることを期待いたしまして、平成26年度八潮市一般会計歳入歳出決算の認定について、賛成の意を表し討論を終了いたします。